

玉城町 地域の未来を考える 住民アンケート調査

調査結果報告

2022.5.14(土)区長会

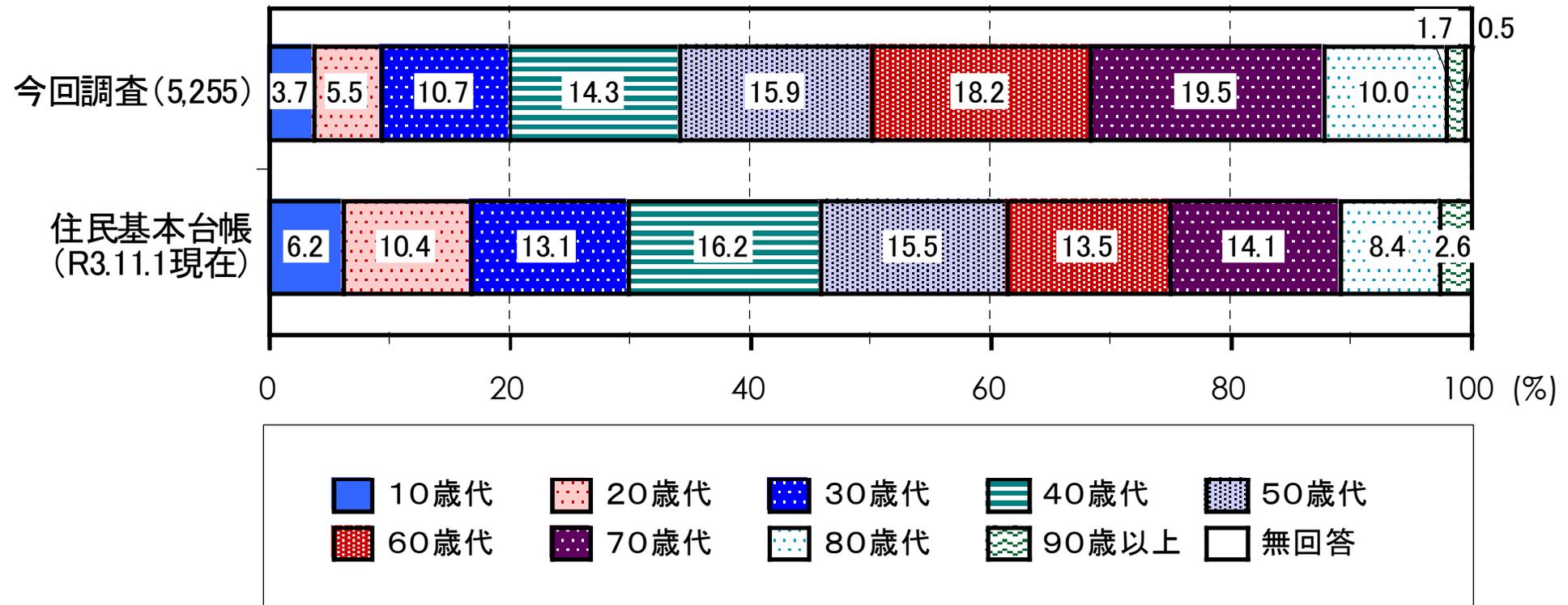
総務政策課

一般社団法人 地域問題研究所

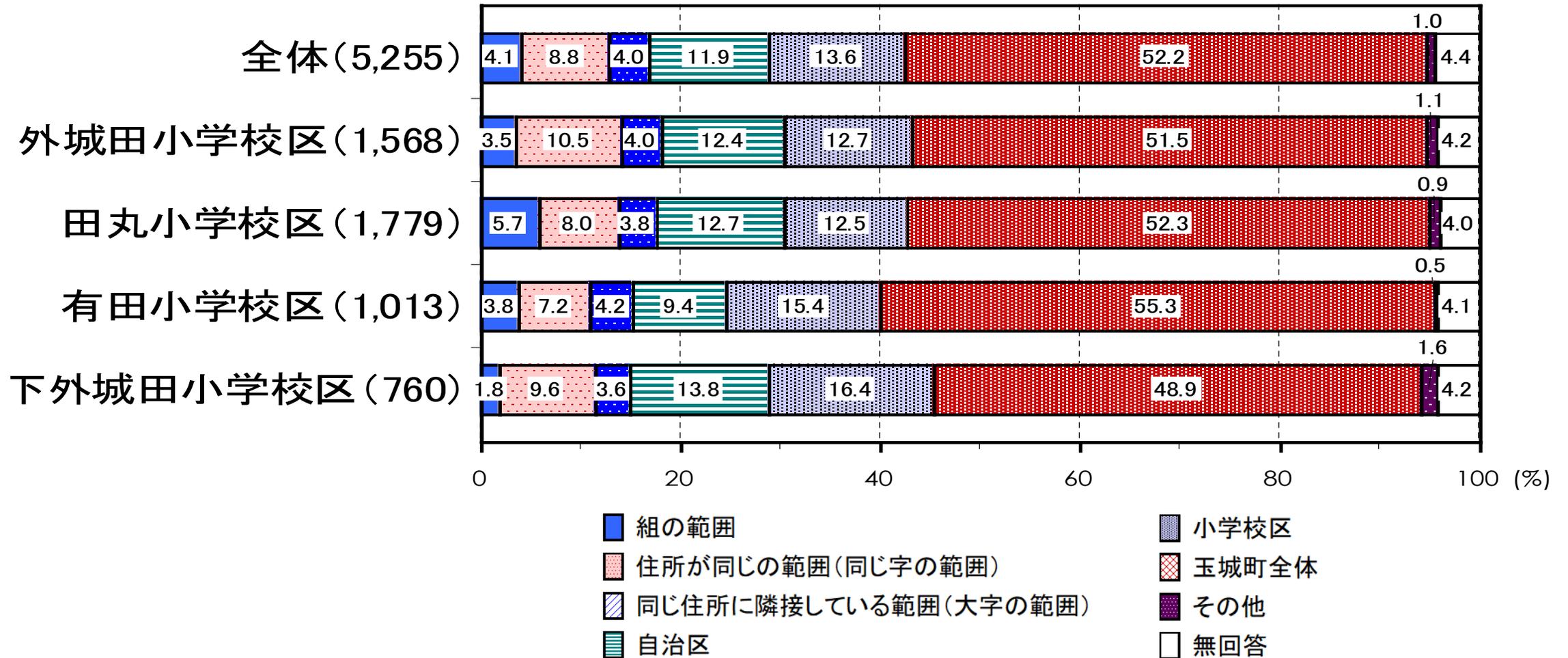
調査概要

調査目的	玉城町では、これからの地域のあり方を検討するために、地域活動の現状と課題、今後の地域活動についてのご意見をお聞きするために、小学4年生以上の全町民を対象にアンケートを行った。	
調査対象	小学4年生以上の全町民 14,116人（※2021年11月1日現在の住民基本台帳人口） ただし、小中学生は、調査項目が異なる。	
回収状況	有効回収数	6,141票 （一般住民5,255票、小中学生886票）
	有効回収率	43.5%

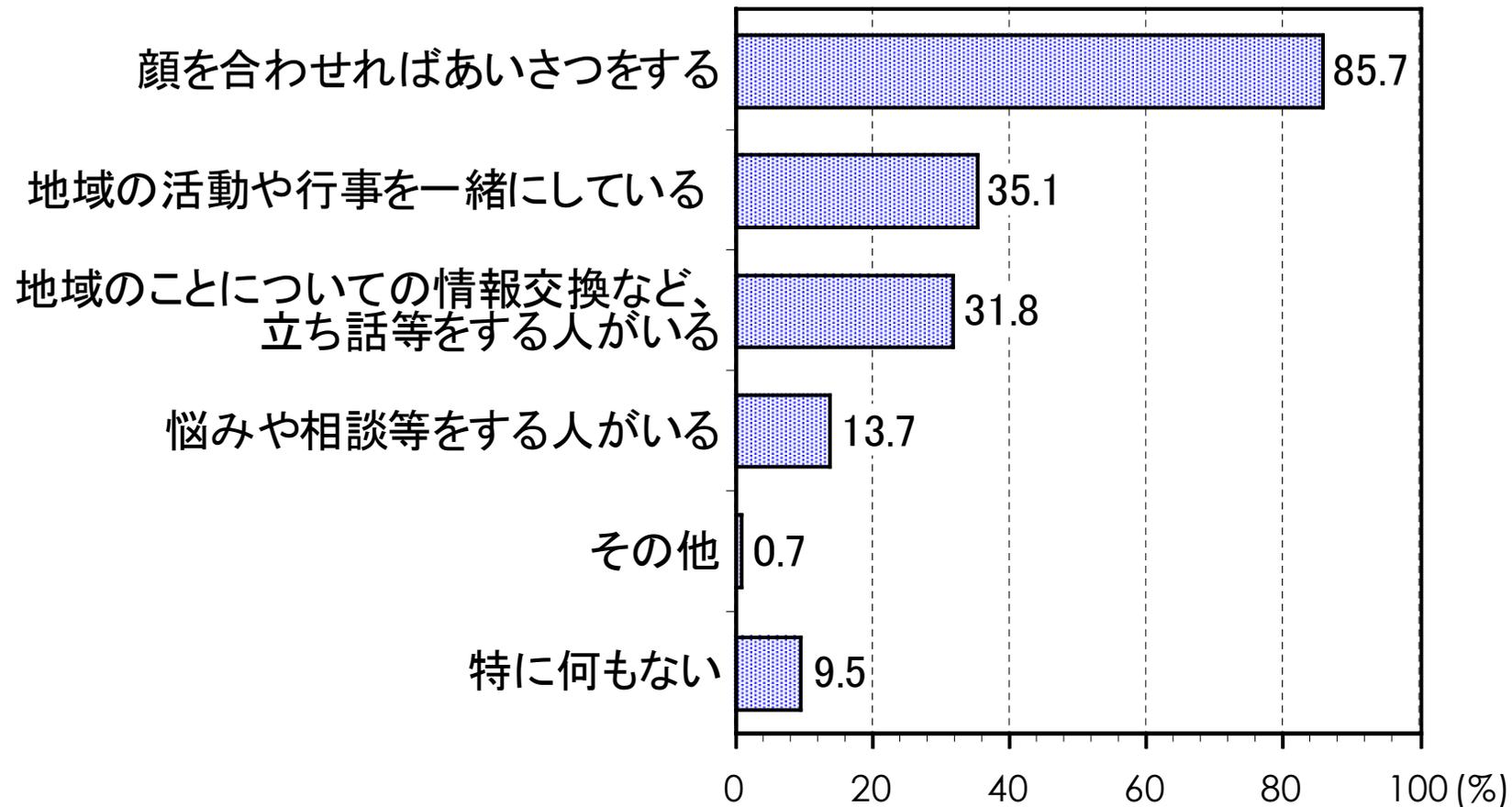
回答者は、20歳代の比率が低く、60歳代、70歳代は高い



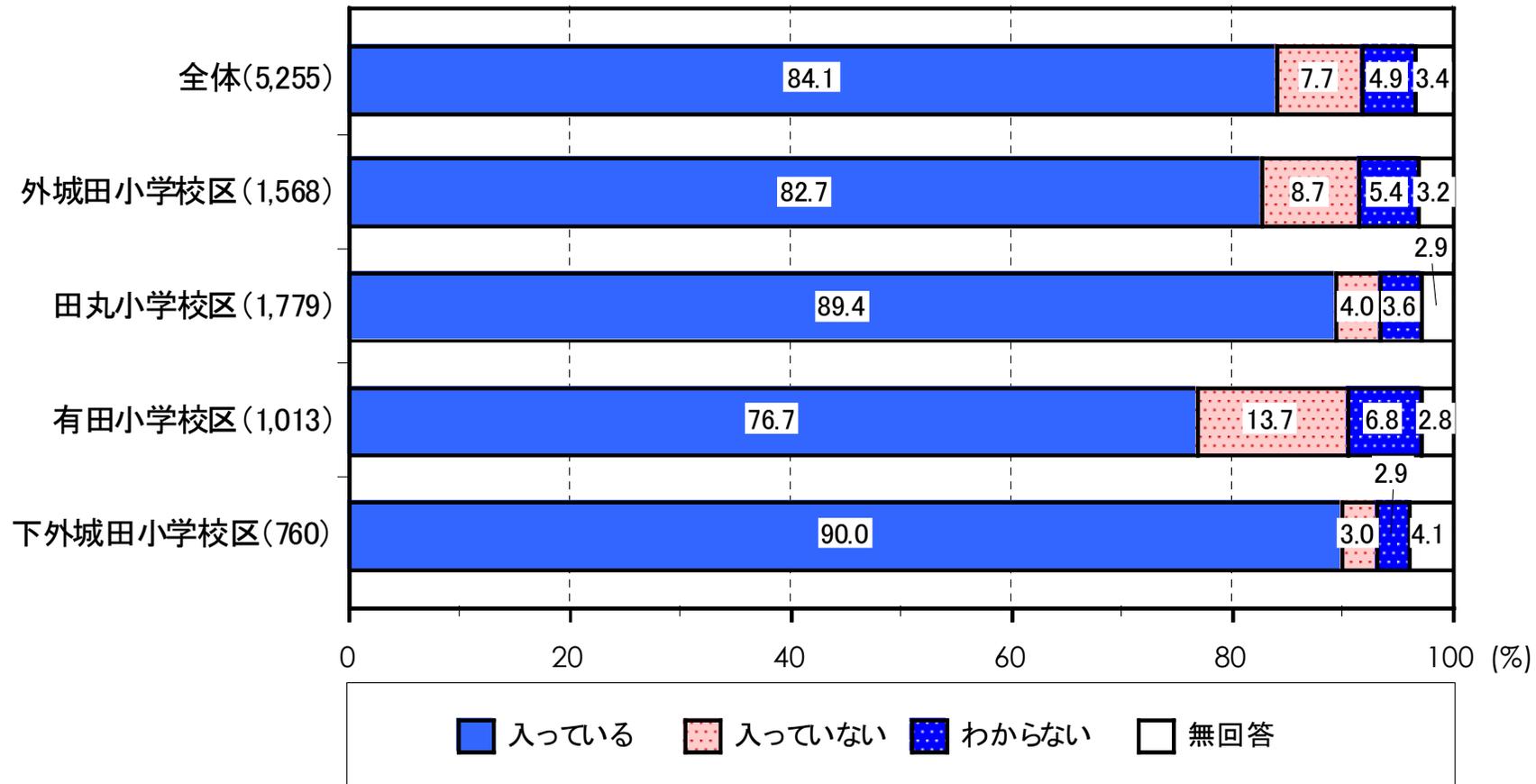
『お住いの地域』のイメージは玉城町全体



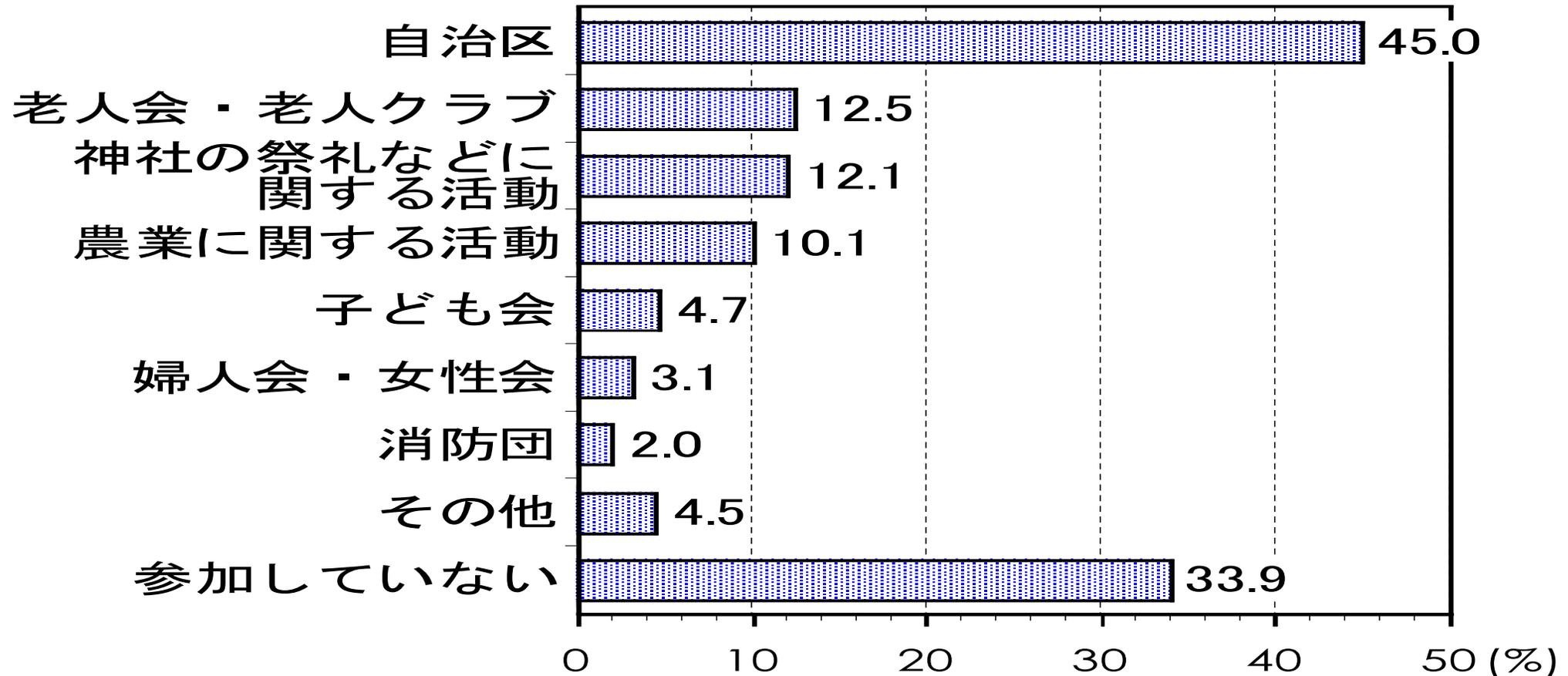
近所づきあい「あいさつ」は86% 「活動・行事を一緒にする」「情報交換」30%強



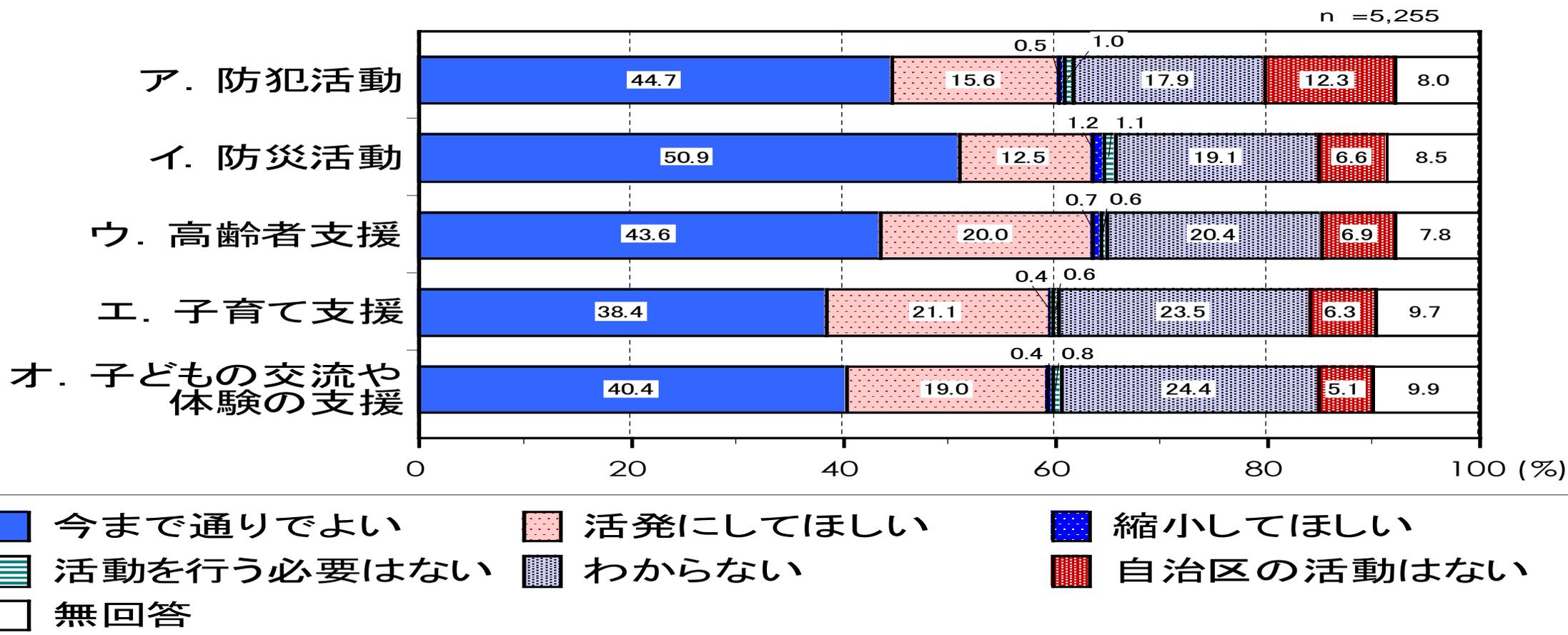
自治区加入は84%



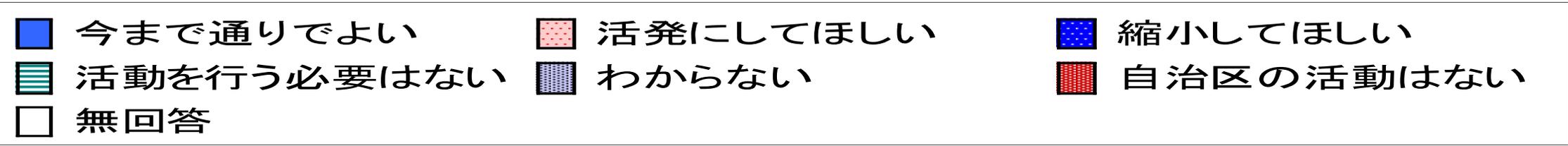
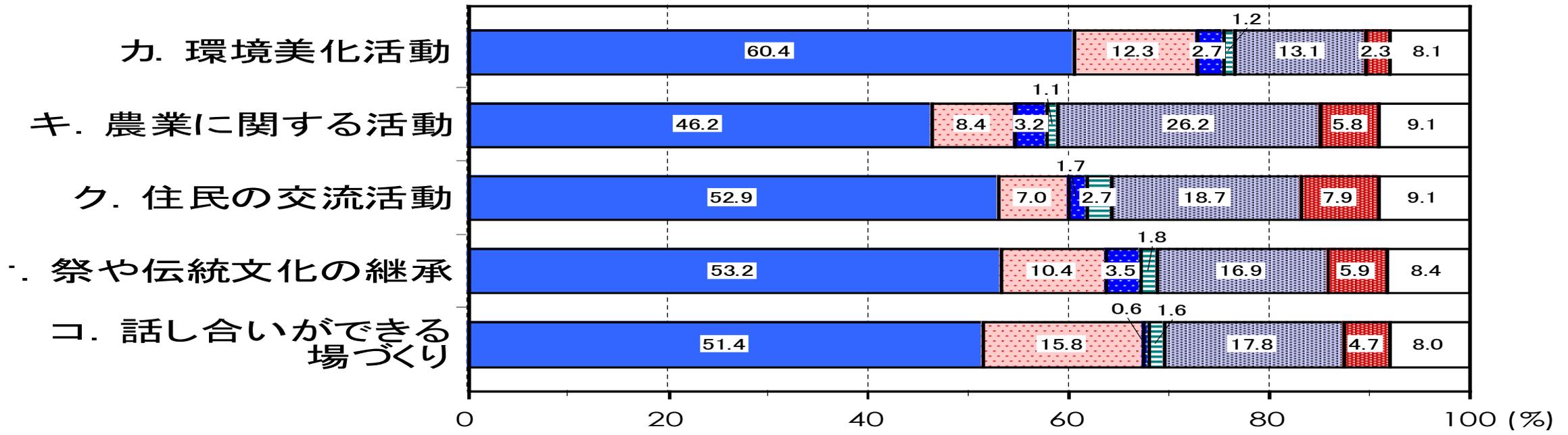
何らかの自治区活動に参加している割合は61%



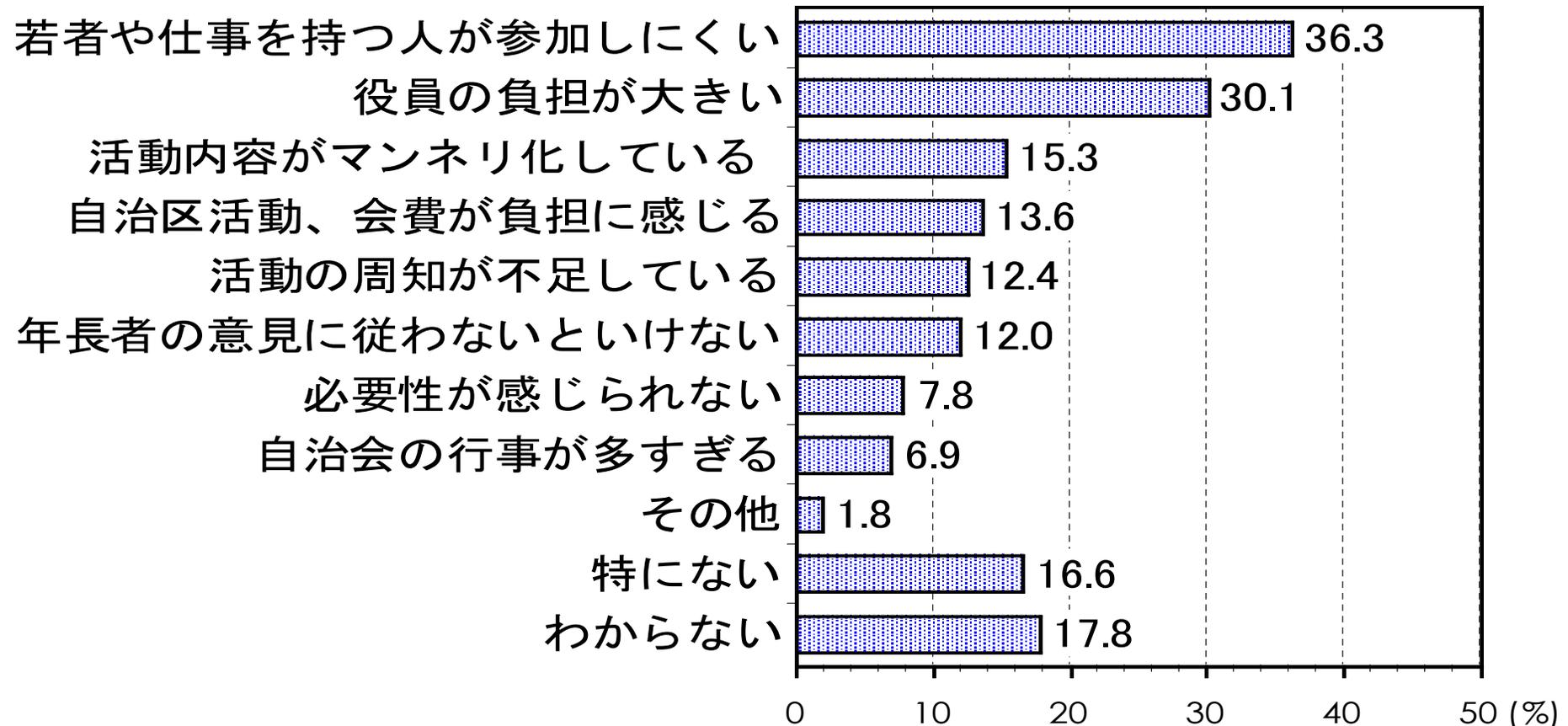
地域の活動「これまでどおりでよい」が半数程度 「もっと活発に」は1～2割



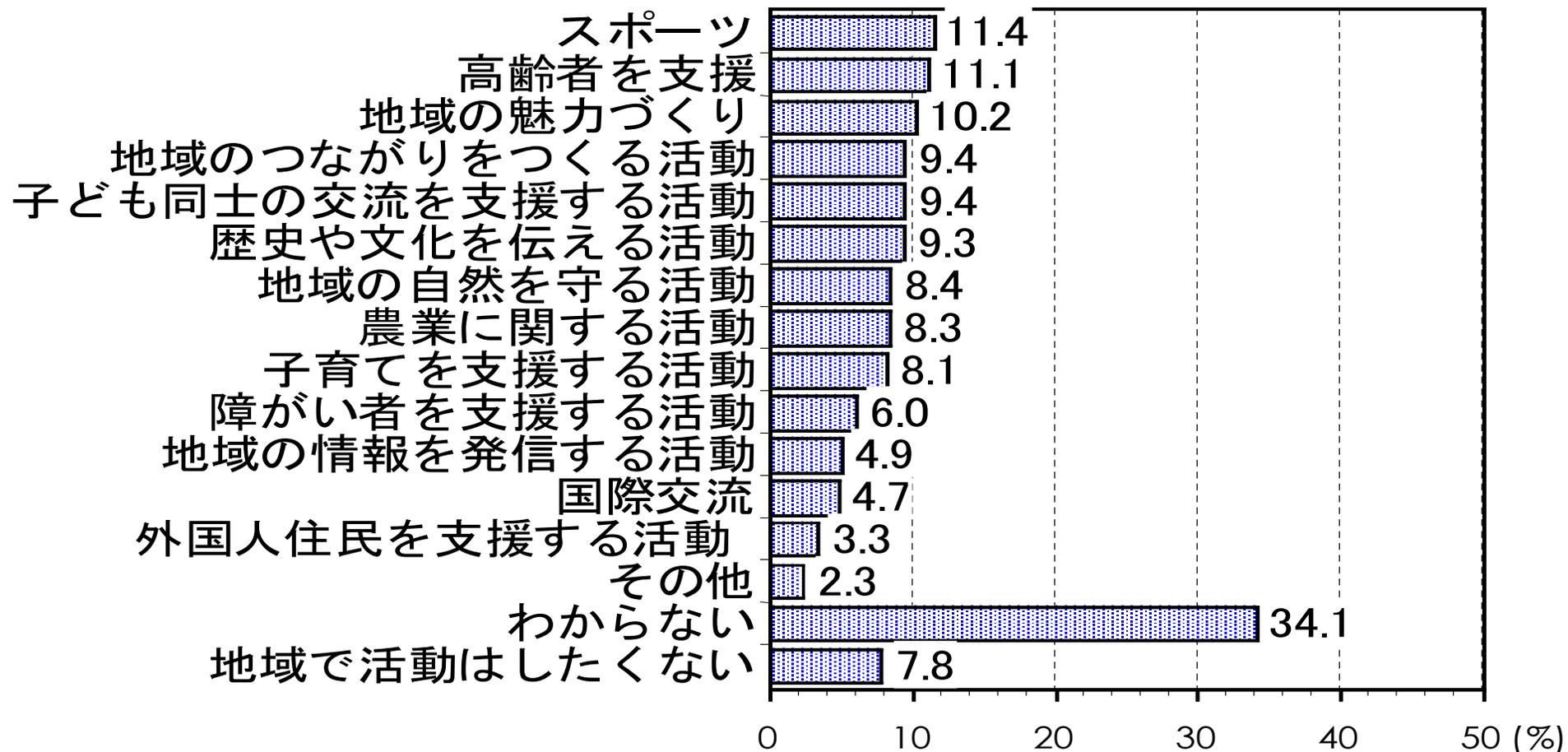
n = 5,255



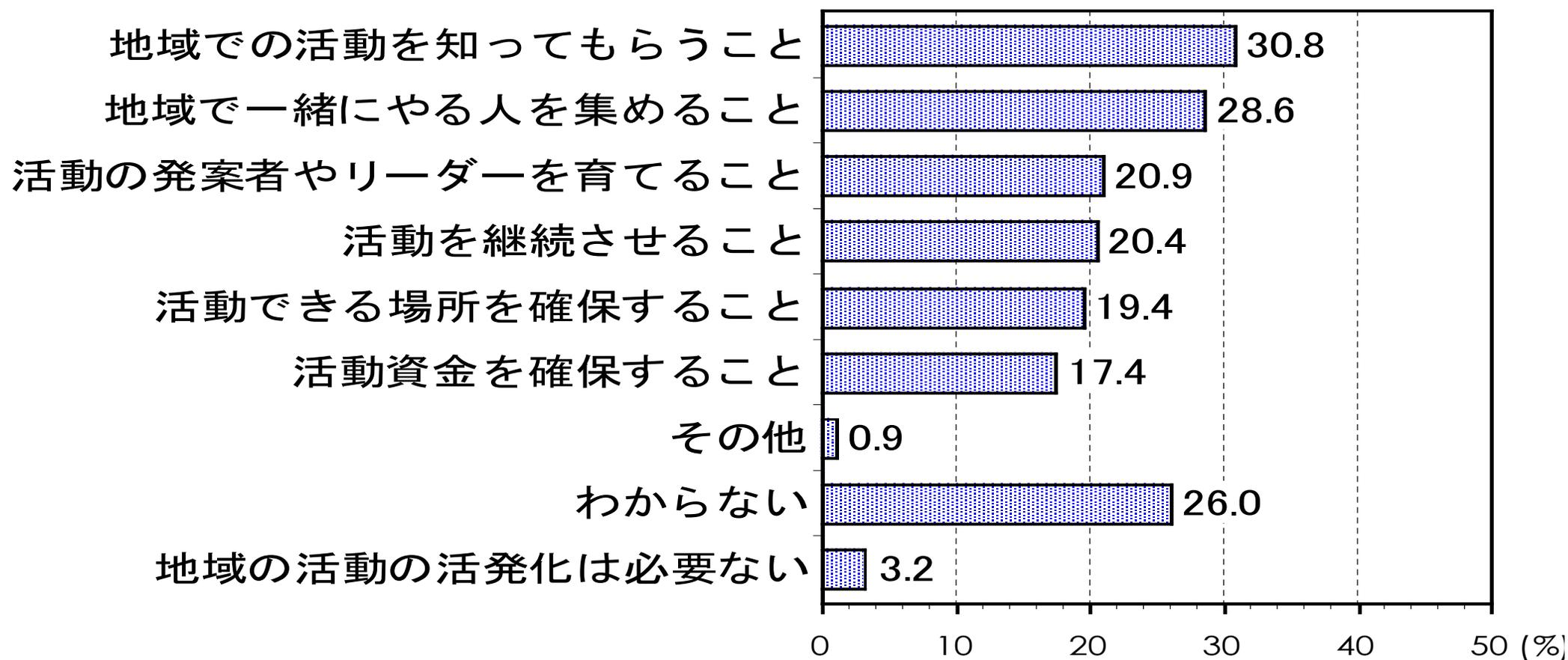
課題は「若い世代が参加しにくい」「役員負担」



やってみたい・参加したい活動がある人は、 約2,400人 (46%)



地域活動は「知ってもらおう」「仲間」が大事



住民アンケート調査結果より

- 自治区加入率は84%、しかし活動している人は61%
- 自治区未加入の人でも、加入意向のある人もいる
- 活動の主な担い手は60・70歳代。30・40歳代も半数以上が活動参加
- 地域の課題30～50歳代は意見が多い。「地域活動必要なし」の意見はわずか
- やってみたい・参加したい活動がある人は2,400人！
- 住民のやりたい・参加したいという思いを実現するための場や支援が必要！